

# 本島南部及び 周辺離島

渡名喜村渡名喜島  
重要伝統的建造物群  
保存地区 (P92-93)

渡名喜島

座間味島

旧崇元寺第一門及び石牆 (P52-53)

壺屋の荒焼のぼり窯 (P67)

新垣家住宅 (P56-57)

阿嘉島

慶留間島

渡嘉敷島

外地島

高良家住宅  
(P60-61)

旧円覚寺放生橋  
(P46-47)

旧円覚寺総門  
(P71)

園比屋武御嶽石門  
(P50-51)

旧首里城守礼門  
(P70)

那覇空港

玉陵 (P16-17)

豊見城・名嘉地

岡波岩

鳥島

天后宮  
(P75)

久米島空港

久米島町

旧仲里間切蔵元石牆  
(P62-63)

上江洲家住宅  
(P64-65)

久米島



国指定重要文化財(昭47.5.15)

# 旧円覚寺 放生橋



戦争で壊れて、博物館に保管されたけど、みんなの努力で元の姿に戻ったんだね。



羽目石には雲や鶴、椿の花、牡丹や蓮などが施されているよ。鎌倉芳太郎の『沖縄文化の遺産』に戦前の写真が掲載されているよ。見事な彫刻であることが見て取れるよ。

那覇市



## 15世紀末に作られた精巧な彫刻のある石橋



旧円覚寺総門と放生橋

旧円覚寺の総門と三門の間の放生池に架けられた石橋です。三門側の親柱に「大明弘治戊午歳春正月吉日建立」と刻まれていることから、1498(弘治11)年に造られたことがわかります。4枚の琉球石灰岩を並べて架けたシンプルな造りですが、その両側にある勾欄は中国からもたらされた輝緑岩を用い、親柱の頭

には子連れの獅子、羽目石には精巧な彫刻が施されています。小さな橋ですが、沖縄の石材彫刻美術の最高傑作といわれています。

沖縄戦時に爆風で吹き飛ばされ、勾欄は戦後、博物館で展示されていましたが、1967(昭和42)年、元の場所に移築されました。





勾欄羽目石



親柱



勾欄



獅子(親柱の拡大)



26°13'6.31"N 127°43'9.48"E